



千葉県内で採取した野生カモ類の糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が検出されました。

高病原性鳥インフルエンザ発生予防のため、県内で実施している野生カモ類の糞便のサーベイランス検査において採取した糞便検体から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が検出されました。今シーズンは既に国内各地の野鳥から鳥インフルエンザウイルスが確認され、農場では11道県13事例高病原性鳥インフルエンザが発生しています。引き続き厳重警戒をお願いします！

塵埃侵入防止をお願いします！

事例：

乾燥し塵埃が舞いやすい環境下において換気をした後に入気口周辺に死亡鶏が分布していた事例が見られた。

対策：

農場に塵埃が大量に侵入する状況避けるため、

- ✓ ウインドレス鶏舎であれば、フィルターを設置
- ✓ 開放鶏舎であれば、乾燥環境下における散水・消毒が有効ではないか。



✓ 入気口フィルター



✓ 細霧装置

(鳥インフルエンザ防疫対策緊急全国会議資料より抜粋)

千葉県南部家畜保健衛生所 TEL 04-7092-2304 FAX 04-7092-1434

※急性悪性家畜伝染病(高病原性鳥インフルエンザ等)の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。
※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。